

## 行橋みやこロータリークラブ

Rotary



## 週報 Weekly Report No.14

ロータリー特別月間  
11月  
ロータリー財団  
月間

ガバナー  
月信

年間  
例会

会員用  
リンク



2025~2026年度

国際ロータリーテーマ

よいことのために手を取りあおう

少しの成長から始まります

1.01で成長、0.99で衰退

国際ロータリー第2700地区ガバナー  
濱野良彦

ベクトルを合わせ最善を尽くそう

行橋みやこロータリークラブ会長

藤原妃呂

## 本日のプログラム

## 出席報告

## 11月のお誕生日

**本日のロータリーソング**  
**『それでこそロータリー』**  
**本日のプログラム**  
 米山記念奨学委員会（外部卓話）  
 奨学生 チバタル エンヘムルン様

10月15日  
 会員数 50  
 欠席者 23  
 出席率 54%

沖永義樹（17日）・織方正憲（24日）  
 村上歩己（24日）  
 田渕優子さま 橋本俊子さま 木村葉子さま  
 長尾朋美さま 原田真里香さま 松山富士香さま

11月12日 ロータリー財団委員会（外部卓話）／11月19日 青少年奉仕委員会（優良青少年表彰）  
 ／12月3日 年次総会／12月10日 クラブ協議会（半期を省みて）

## 会長の時間



9月のインド旅行の思い出をお話ししたいと思います。6日間、デリー、タージ・マハルのあるアグラ、バラナシを訪れました。

バラナシはヒンドゥー教の聖地で、混沌とした街として知られています。私は刺激的な場所が好きなので、息子と一緒に訪れました。バラナシは近代的なデリーと異なり、空港に到着するなり腐敗した匂いと真っ黒で目だけが白い若者たちがたむろしていて、日本人などの観光客を狙っています。痩せこけて狂犬病を疑う犬も多く、目を合わさず進む必要がありました。ガンジス川周辺は車は入れないので、人力車に乗り、ガイドと運転手をつけガンジス川に行き、沐浴や祈りをしている人々を見学しました。道には牛や糞、裸足で歩く人たちや仙人みたいな人達、屋根には猿もたくさんいました。車道や歩道、人間と動物、生活の中深く入り込んだ宗教など、日本とは違い、境界のない街だと感じました。

大河は濁った茶色で、雨季だったのでさらに水量が多く、その流れの早くなかったガンジス川にたくさん的人が並んで沐浴をしていました。

ヒンドゥー教の人々はお墓を持たない為、ガンジス川周辺で遺体を焼き、その灰を流すことで人間界の輪廻転生から解放され、天国に行けると信じられています。インド人にとって、ガンジス川に遺灰を流すことは最大の願いなのだろう。インドは日本の9倍の面積があり、人口は14億以上です。それだけ大きな国の人たちがガンジス川にやって来るので、歩くだけで大変でした。

またガンジス川周辺に84ある火葬場はガート呼ばれ、遺体は木の台の上に置かれ、布で包まれて燃やされます。その周りにはたくさんの灰が散らばり、まだ燃えている部分もあったのでかなり熱かったです。その灰だらけの中央付近ではヤギや犬が戯れていたりとまるで地獄絵のように映り、生と死の世界は別世界だと感じていた私には忘れられない光景になりました。

またカースト制度の名残が残っているのか貧富の差がハッキリしており、デリーでは、首相官邸や国会議事堂、高級住宅街など緑豊かで、スーツを着て闊歩しているインド人の住む地域の隣にスラム街があったりと、やはりまだ発展途上の国だと思いました。

- 創立 … 1984年4月3日
- 例会日 … 水曜日 (12:30~13:30)
- 例会場 … みやこホテル 行橋市宮市町9-18 ☎0930-23-1800
- 事務局 … 行橋商工会議所別館1階 行橋市中央1-9-50 ☎0930-25-0655
- FAX: 0930-25-5700 Email: info@ym-rotary.club URL: <https://ym-rotary.club>

- 会長 ……………… 藤原妃呂
- 副会長 ……………… 山田千恵
- 幹事 ……………… 原田和博
- 会報雑誌委員長 …… 二十二豊

そしてインド人がIT人材として優秀な理由として、職業世襲が当たり前のカースト制度の名残が影響していると説明がありました。

新しく生まれた技術であるIT業界の人材になれば、身分の低い職業の子供として生まれても、そのIT関係の仕事に代わることができます。だからインド人が世界のIT業界で強い理由の一つなのだそうです。

そしてインフラも整いつつありました。鉄道や地下鉄、モノレールが新しく建設されていました。10年後に来るとインドは全く違う国になっているよとガイドが自慢げに話していました。またそれを確かめに行くのが楽しみです。

最後に、インド人あれだけ嘘をつくのに、なぜ昔のCMで「インド人嘘つかない」が流行ったのかと不思議に思いましたが、あれは頭にターバンを巻いたシーク教のインド人の事だと思います。シーク教のインド人はとても礼儀正しく、嘘は絶対についてはいけない、また誠実である事が大切だと教えられています。そのためインドに旅行に行ったときに、道を尋ねたり質問する際には、騙されないように頭にターバンを巻いたシーク教の人へ話しかけるようお勧めいたします。詐欺られるリスクを減らせると思います。

## 幹事報告

ガバナー公式訪問の集合写真を週報に入れております。ご確認よろしくお願ひ致します。10月22日・29日は休会です。御間違えないよう宜しくお願ひ致します。

## 委員会報告

皆さんこんにちは。今日はコスタで献血を行ってあります。僕もちゃんと吸われてきましたので、どなたかおられましたらよろしくお願ひします。寂しいんで誰か来てください。中間報告ですが、午前中21名。午後からが80名を予定しております。以上です。よろしくお願ひします。

## 本日のプログラム 【広報公共イメージ委員会】

みなさんこんにちは  
広報公共イメージ委員長の秋山Rが職業奉仕の為欠席で私が担当したいと思います。私の友人で白川研究所書博士の尾形武文様です。最近テレビ・新聞などでも話題になっていますお米のお話です。



## コメはどこから来たのか？

### 白川作物研究所

尾形武文様



食欲の秋、美味しいお米のルーツをみてみましょう！

### ○稻作がやってきた！

日本列島に人が住むようになっておそらく3万年の時代がたつ。1万数千年前には土器が作られるようになる。縄文時代の幕開けをつげる一つのできごとでした。イネがやってきた時期は従来の区分で言えば縄文時代、それも後期に当たる4000年ほど前にさかのぼると考える研究者もいれば、縄文稻作などなかった。

弥生時代だと主張する研究者もいて、平行線をたどったままです。稻作が古くからあったと考える研究者の主張の根拠はプラントオパールが縄文時代の遺跡からも出土するという事実とともに、縄文土器を作った土そのものからも



プラントオパールが出ていることにある。プラントオパールとは、葉の細胞に溜まったケイ酸(SiO<sub>2</sub>)の塊(ケイ酸体)が遺跡の土中からみつかる一種の微化石である。

### ○インディカとジャポニカ



イネの品種を大きく二つ、インディカとジャポニカに分けている。ジャポニカは熱帯型と温帯型に分けられる。粒が長いインディカ米、丸い粒形のジャポニカ米ということができます。

### ○日本に来た最初のイネ

日本に来たイネの主役はジャポニカのイネであるということは、ほぼ間違いないようです。イネと水田での米作りが日本に伝えられた経路については、①朝鮮半島南部を経由した経路のほか、②中国の江南地方あたりから直接日本に伝わった経路も有力です。また、③台湾・沖縄経由も有力です。

### ○世界で研究が進められている米の原産地

稻の栽培がいつ、どこで始まったかについては、世界中で研究がされています。近年、有力とされていたのは「長江中・下流域」説です。

世界で栽培されている稻は、大きく【アジア原産のアジア稻】と【西アフリカ原産のアフリカ稻】の2種に分けられます。1980年代に「長江中・下流域」において、6000~7000年前のものとされる稻作遺跡が発見され、長江流域の河姆渡(かぼと)遺跡から出土した炭化米のDNAなどを調べたところ、栽培イネとともに野生イネが発見され、これらの中間的な種も見つかりました。

それらは共にジャポニカであることが判明。同じ遺跡から栽培イネと野生イネが発見されたことから、稻作発祥の地と考えられ、ジャポニカに関しては長江中・下流域が有力と考えされました。

### ○稻作のはじまり（ゲノム解読でわかつてきたもの）

稻作の起源は、渡部博士や中川原博士らの実証的研究によって、雲南・アッサム地域と推定され、最初それが定説となりました。その後、長江下流の河姆渡(かぼと)遺跡で見つかった炭化米の分析から、長江中・下流域がその起源地と推定されました。これで稻作の起源は確定したかと思われましたが、最近2012年、国立遺伝学研究所は、イネのゲノム（遺伝情報）を解読して、イネの栽培化は珠江(しゅこう)中流域で始まったと、「Nature」に発表しました。この論文によれば、イネの栽培化すなわち稻作の始まりは、長江より南の中国広西地区の珠江中流域だというのです。

### ○イネの栽培化は、中国の珠江流域で始まった！ ～国立遺伝学研究所での倉田のり名誉教授のはなし～

ジャポニカの最も古い系統をたどっていったところ、珠江の中流域において「倒れにくい」、「実が落ちにくい」といった栽培に適した野生系統のあるイネが選び出されて稻作がはじまり、やがてジャポニカ系統は単一系統由来のものとして、またインディカ系統は各地の野生イネ系統と交配しながら、アジア各地に広がっていったことを端的に示しています。ジャポニカ米

やインディカ米など、お米にはいろいろな種類がありますが、その起源はたった1種の野生イネなのです。

現在、福岡県民が食べている夢つくしや元気つくし。こんなにも美味しいお米が遠く、離れた中国南部地域の珠江流域が発生の地で、そこからはるばる来たんだということがわかると、なんだかお米がいとおしくなってきます。



2025.10.15 献血  
【社会奉仕委員会】

### コスタ行橋 献血

10月15日にコ스타行橋で行なわれた献血です。53人来ていただき42人が献血にご協力していただきました。当日に協力していただいたロータリアンの方々ありがとうございました。



2025.10.21

## 築城特別支援学校 適性検査の結果報告の様子



### THE 4WAY-TEST

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?



### ニコニコ BOX

原田和博 R : 尾形様貴重なあ  
話ありがとうございました。

藤原妃呂 R : 尾形所長さん、  
今日はお米について卓話をあ  
りがとうございました。

有門信芳 R : ニコニコしま  
す。

松井明男 R : 尾形武文様あり  
がとうございました。

工藤茂美 R : 尾形先生ありがとうございました。お弁  
当ありがとうございました。

西村 勝 R : 白川作物研究所尾形武文所長お米の話た  
めになりました。ありがとうございました。

末松ガバナー補佐本日はありがとうございました。

村上哲二 R : 尾形様ありがとうございました。

渡邊豊文 R : 尾形様ありがとうございました。ニコニ  
コします。



### ニコニコ BOX

10月15日の合計 12,000円  
累計 264,500円



ロータリークラブ presents  
「ピース・オン！DAYTIME」  
TUE 12:30-12:45



●週報の原稿はこのQRコードからメー  
ルで送信してください。

●会員の事業を紙面で紹介！事業内容・  
アピール文・写真を送付してください。

### 近隣R.C.へのメークアップのご案内

月曜日	…	小倉中央RC	(リーガロイヤルホテル小倉)
火曜日	…	行橋RC	(みやこホテル)
火曜日	…	小倉南RC	(リーガロイヤルホテル小倉)
水曜日	…	田川RC	(料亭ああぎり)
水曜日	…	小倉東RC	(ステーションホテル小倉)
木曜日	…	豊前RC	(ニューアイズみ)
木曜日	…	苅田RC	(西日本工業大学中会議室)
金曜日	…	小倉RC	(リーガロイヤルホテル小倉)
金曜日	…	豊前西RC	(築上町リサイクルプラザ)